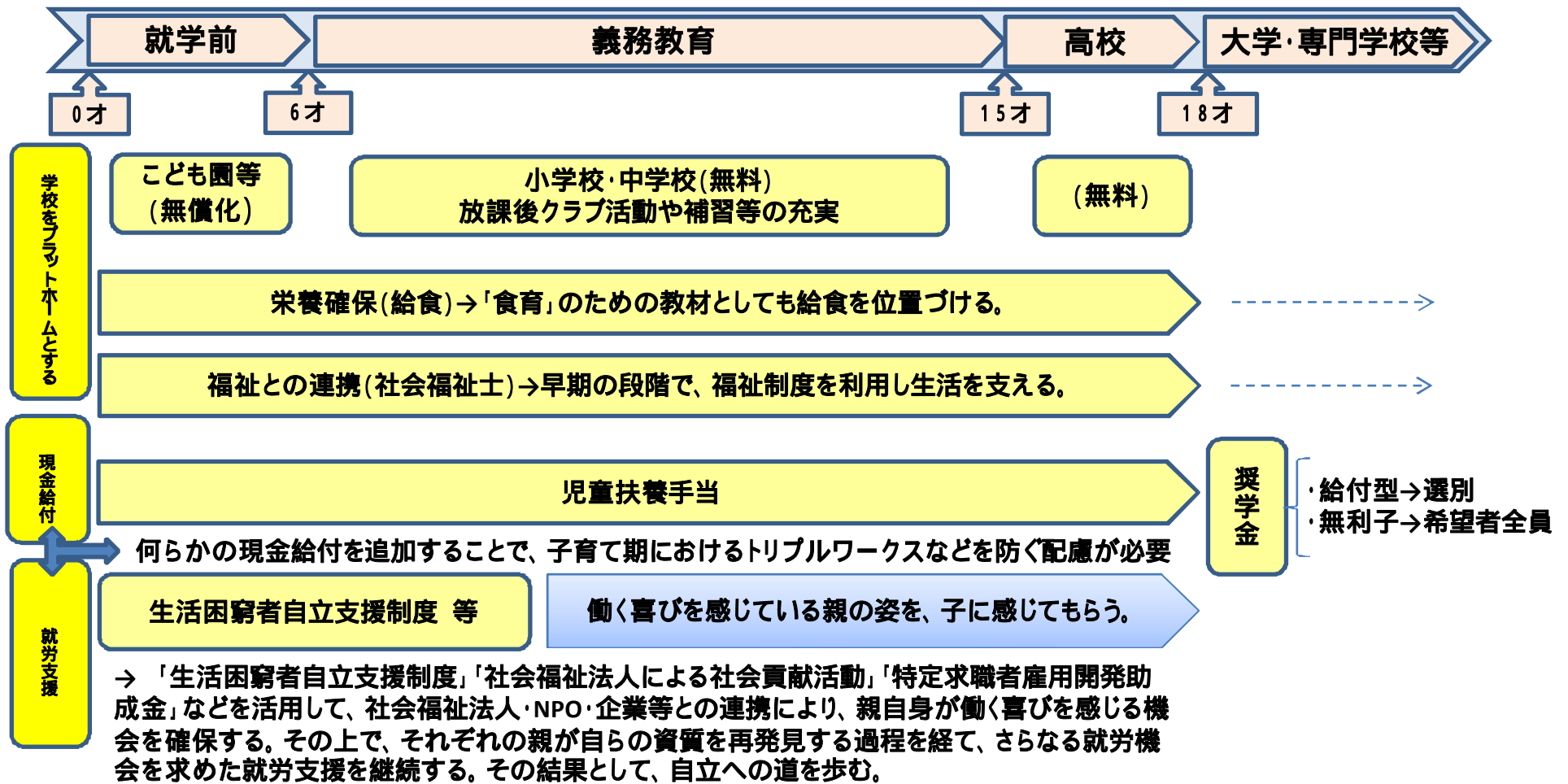


成長段階に応じた子どもの貧困対策(イメージ)



により 就学前の段階から「学ぶ」という文化に触れる機会を確保する。その際、給食を通して栄養確保につとめるとともに、学校という場に社会福祉士を配置することで、早期の段階で、教育と福祉との連携をとりやすい仕組みを整える。

により なんらかの現金給付を追加することで、子どもの貧困対策に寄与しうる所得再分配機能を強化する。

により 親の就労の機会を確保し、働くということの意味を子どもが前向きに捉えられるようにする。その過程で、世帯収入の増加が可能となり、結果として、当該家庭が貧困状態から脱却する。

~ により 子どもの貧困の連鎖を防ぐとともに、少子社会において活躍しうる大切な人材として育てる。

大綱に掲げる事項等の整理（例示案）

2014.5.22
新保 幸男

資料 8 - 2

法に定める大綱事項	給付の性格	具体的な施策事項など	対象又は効果など			
			子どもの対象年齢	親子相互間での影響	所得再分配機能	支援が必要な子どもの発見機会
1 基本的な方針		子どもの貧困の連鎖を防ぐとともに、少子社会において活躍しうる大切な人材として育てる。	制限なし	双方向		
		国及び地方公共団体の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行う。	制限なし	双方向		
2 指標と改善に向けた施策		子どもの貧困率	-	-	-	-
		高等学校、大学等への進学率	-	-	-	-
		社会福祉士を配置している学校等の割合	-	-	-	-
		完全給食を実施している学校等の割合	-	-	-	-
		就学前教育を受けた人数と年数	-	-	-	-
3 教育の支援	現物	就学援助制度	義務教育	親を通して子へも		
	現金	奨学金	制限あり	子を通して親へも		-
	現物	給食	0歳～高校	子を通して親へも	-	
4 生活の支援	現物	社会福祉士（スクールソーシャルワーカー等）	0歳～定時制高校	子を通して親へも	-	（常勤）
	現物	食＋居場所＋相談＋学習支援	小学生～大学生	子を通して親へも	-	
5 保護者に対する就労の支援	現物	生活困窮者自立支援制度	制限なし	親を通して子へも	-	
	現金	給付金（高等技能訓練促進費、自立支援教育訓練）	制限なし	親を通して子へも	-	-
	現物	就労機会の確保・職業訓練	制限なし	親を通して子へも	-	-
6 経済的支援	現金	児童扶養手当	0歳～高校卒業時点	親を通して子へも		-
	現金	貸付金（母子寡婦福祉資金、生活福祉資金）	制限なし	親を通して子へも		
7 調査及び研究		子どもの心身の発達に与える貧困の影響	-	-	-	-
		貧困の連鎖をもたらすメカニズム	-	-	-	-
		児童虐待死亡事例等の検証方法	-	-	-	-
		児童自立支援施設内にある学校等の授業方法	-	-	-	-
8 その他						